

契約当事者市町別の相談件数

平成30年度（平成30年4月～平成30年6月）

市町名	H30年度件数	H29年度件数	増減	対前年度比	市町名	H30年度件数	H29年度件数	増減	対前年度比
津市	141	142	-1	99.3%	朝日町	7	4	3	175.0%
四日市市	56	71	-15	78.9%	川越町	7	7	0	100.0%
伊勢市	41	43	-2	95.3%	多気町	13	8	5	162.5%
松阪市	54	65	-11	83.1%	明和町	15	16	-1	93.8%
桑名市	59	48	11	122.9%	大台町	4	8	-4	50.0%
鈴鹿市	47	44	3	106.8%	玉城町	6	3	3	200.0%
名張市	28	27	1	103.7%	度会町	2	3	-1	66.7%
尾鷲市	6	4	2	150.0%	大紀町	4	1	3	400.0%
亀山市	12	15	-3	80.0%	南伊勢町	8	6	2	133.3%
鳥羽市	5	4	1	125.0%	紀北町	5	11	-6	45.5%
熊野市	7	1	6	700.0%	御浜町	1	4	-3	25.0%
いなべ市	16	16	0	100.0%	紀宝町	7	4	3	175.0%
志摩市	17	16	1	106.3%					
伊賀市	21	41	-20	51.2%	県内不明	2	13	-11	15.4%
木曾岬町	4	3	1	133.3%	県外・不明	6	26	-20	23.1%
東員町	16	7	9	228.6%					
菰野町	21	13	8	161.5%	合計	638	674	-36	94.7%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、桑名市、四日市市、松阪市、鈴鹿市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。